

ブックレット紹介

神奈川大学 21 世紀 COE 研究成果叢書（神奈川大学評論ブックレット）

『神奈川大学評論ブックレット』のシリーズとして、『神奈川大学 21 世紀 COE 研究成果叢書』を刊行しました。本叢書は、21 世紀 COE プログラム『人類文化研究のための非文字資料の体系化』の成果を研究担当者の単著として、わかりやすく簡明にまとめたものです。

神奈川大学評論ブックレット 30 800 円＋税  
菊池勇夫 『菅江真澄が見たアイヌ文化』



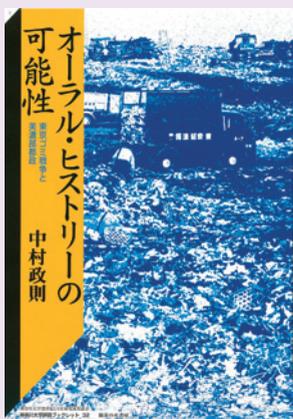
菅江真澄自身がアイヌ文化に対してどのような関心や眼差しを持っていたのか明らかにしながら、真澄の記述と図絵によって十八世紀末頃の道南アイヌの生活文化の具体相を読み解いてみようと思う。－「はじめに」より

神奈川大学評論ブックレット 31 1000 円＋税  
福田アジオ 『名所図会を手にして東海道』



『東海道名所図会』が描いた各地の生活・生産場面を重点的に取り上げ、十八世紀末の東海道沿いの生活を、絵引きの方式によって生き生きと蘇らせる。

神奈川大学評論ブックレット 32 800 円＋税  
中村政則 『オーラル・ヒストリーの可能性－東京ゴミ戦争と美濃部都政』



文献資料（専門書、体験記、日記、新聞など）とオーラル・ヒストリーの方法を併用し、高度経済成長期の東京都におけるゴミの処理・処分に関する紛争を浮き彫りにする。

神奈川大学評論ブックレット 33 1000 円＋税  
北原糸子 『メディア環境の近代化－災害写真を中心に－』



明治中期、映像で災害を捉える時代が開かれた！災害の実態写真などを紹介しながら、伝え手とその受け手も含め、その時代の情報空間を考える。